

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月12日

上場会社名 カンダホールディングス株式会社  
 コード番号 9059 URL <http://www.kanda-web.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝又 一俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 原島 藤壽  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日 配当支払開始予定日 平成21年12月7日

上場取引所 東

TEL 03-3265-1841

平成21年12月7日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	12,660	2.5	825	56.3	782	62.9	457	93.2
21年3月期第2四半期	12,353	—	527	—	480	—	236	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	42.11	—
21年3月期第2四半期	21.26	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	29,376	10,790	36.5	996.71
21年3月期	28,492	10,493	36.6	941.71

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 10,730百万円 21年3月期 10,437百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,200	0.7	1,450	21.6	1,350	24.5	720	72.7	64.80

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」(2)をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」(3)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 11,654,360株 21年3月期 11,654,360株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 888,648株 21年3月期 570,451株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 10,865,072株 21年3月期第2四半期 11,138,788株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」を参照してください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年後半以降の急激な景気悪化に一部底入れ感が出始めてはいるものの企業収益の大幅な悪化、設備投資の抑制、個人消費の低迷、雇用環境の悪化など依然として景気の先行きが不透明な状況が続いております。

物流業界におきましては、取扱量の減少、環境対策や安全規制の強化を始めとする様々なコストの増加等、取り巻く経営環境は厳しい状況が続きました。

このような経営環境の中にあつて、当社グループは「変革から創造へ」をスローガンに新たに「第Ⅲ次4ヵ年経営計画」（平成21年4月～平成25年3月）をスタートさせ、急激に変化する経営環境に対応するために企業価値向上と変化に即応する運営体制構築を基本とし当社グループが培った「ノウハウ」、「機能」を活用し戦略的で収益性、競争力の高いサービスの提供と事業の展開を目指し努力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は126億60百万円（前年同期比2.5%増）となり、営業利益は8億25百万円（前年同期比56.3%増）、経常利益は7億82百万円（前年同期比62.9%増）、四半期純利益は4億57百万円（前年同期比93.2%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①貨物自動車運送事業

貨物自動車運送事業におきましては、荷主の物流コスト削減要請、一般貨物低迷の基調がここ数年続いております。

このような状況の中、当社グループの主力業務であります物流センター業務代行、流通加工業務に注力し、新規顧客の獲得に向けて努力してまいりました。当第2四半期連結累計期間はキャッシュサービス事業や生活関連商品に係るセンター業務を中心として既存顧客の取引深耕により事業拡大を図りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における貨物自動車運送収入は120億99百万円（前年同期比1.7%増）となりました。利益面につきましては、売上増加に伴う増益効果に加え、採算改善が遅れていた不採算営業所の収益改善が進んだこと等により営業利益は9億31百万円（前年同期比34.2%増）となりました。

#### ②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、不動産賃貸事業収入は4億20百万円（前年同期比0.1%減）となり、営業利益は2億61百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

#### ③その他事業

リース業務、コンピュータソフト開発業務、保険代理店業務、部品販売業務を中心とした、その他事業収入は1億39百万円（前年同期比345.7%増）となり、営業利益は9百万円（前年同期比37.7%増）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、77億19百万円（前連結会計年度末は72億99百万円）となり4億20百万円増加しました。現金及び預金の増加3億81百万円、受託現金の増加50百万円、受取手形及び営業未収金の減少67百万円が主な要因です。

### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、216億57百万円（前連結会計年度末は211億93百万円）となり4億63百万円増加しました。北関東物流センター（仮称）の土地取得による増加7億45百万円、機械及び車両運搬具の購入1億95百万円、減価償却の実施5億43百万円が主な要因です。

### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、129億14百万円（前連結会計年度末は127億87百万円）となり1億27百万円増加しました。短期借入金（一年内返済予定長期借入金を含む）の増加32百万円、預り金の増加47百万円が主な要因です。

### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、56億71百万円（前連結会計年度末は52億11百万円）となり4億59百万円増加しました。長期借入金の増加5億92百万円、役員退職慰労引当金の減少96百万円が主な要因です。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、107億90百万円（前連結会計年度末は104億93百万円）となり2億97百万円増加しました。四半期純利益4億57百万円と配当金55百万円の支払いにより利益剰余金が4億2百万円増加し、自己株式が1億21百万円増加したことが主な要因です。

この結果、自己資本比率は0.1ポイント下降し36.5%となりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、投資活動の結果使用した資金10億25百万円を営業活動の結果得られた資金9億69百万円と財務活動の結果得られた資金4億44百万円でまかない、前連結会計年度末に比べ19億36百万円減少し、22億93百万円となりました。このうち、現金及び現金同等物の資金の範囲に含まれるよる減少額が23億24百万円となっております。

#### 「営業活動によるキャッシュ・フロー」

営業活動の結果得られた資金は、9億69百万円（前年同期比3.8%増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益7億78百万円と減価償却費5億43百万円によるものであります。

#### 「投資活動によるキャッシュ・フロー」

投資活動の結果使用した資金は、10億25百万円（前年同期比147.4%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得10億37百万円によるものであります。

#### 「財務活動によるキャッシュ・フロー」

財務活動の結果得られた資金は、4億44百万円（前年同期は3億83百万円の使用）となりました。これは主に短期借入金の純増減額による収入9億10百万円、長期借入金による収入12億45百万円、長期借入金の返済による支出15億30百万円、自己株式の取得による支出1億21百万円によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期以降の景気動向等は依然不透明であり、一部業務については取扱量の減少が予想されますが、引き続き新規業務の獲得、不採算事業の収益改善を進めてまいります。従いまして、平成21年11月10日に公表しました平成22年3月期の通期連結業績予想につきまして変更はありません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

(1) 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲の変更

キャッシュサービス事業の受託現金については、従来、手許資金、随時引き出し可能な預金として資金（現金及び現金同等物）の範囲に含めておりましたが、第1四半期連結会計期間より、資金の範囲から除くことといたしました。

この変更は、キャッシュサービス事業の業容拡大に伴い、近年契約先から預っている現金が大幅に増加し、顧客からの預り金の増減額が「営業活動によるキャッシュ・フロー」に影響を与える可能性が増加し、かつ、第1四半期連結会計期間に警備輸送業務を当社の100%出資子会社であるカンダコーポレーション株式会社（カンダコーポレーション分割準備株式会社より社名変更）に承継したことを契機に資金管理活動の実態を見直した結果、キャッシュ・フローの状況をより適切に表示するため、第1四半期連結会計期間より、受託現金は資金の範囲から除くことといたしました。

この変更により、「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、50,382千円減少し、「現金及び現金同等物の四半期残高」は2,375,275千円減少しております。

② 表示方法の変更

(四半期連結貸借対照表)

前第2四半期連結会計期間において、「現金及び預金」に含めて表示しておりました「受託現金」は、明瞭表示の観点から当第2四半期連結会計期間より区分掲記することとしました。

なお、前第2四半期連結会計期間の「現金及び預金」に含まれる「受託現金」は、2,127,004千円でありませ

(四半期連結損益計算書)

前第2四半期連結累計期間において、販売費及び一般管理費の「その他」に含めて表示しておりました「役員報酬」は、販売費及び一般管理費総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。

なお、前第2四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費の「その他」に含まれる「役員報酬」は128,363千円であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第2四半期連結累計期間において、財務活動によるキャッシュ・フローの「短期借入金による収入」及び「短期借入金の返済による支出」は、総額で表示しておりましたが、短期借入金については、借入期間が短く、かつ回転が速い項目であるため、当第2四半期連結累計期間より「短期借入金の純増減額（△は減少）」として純額で表示しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の「短期借入金の純増減額（△は減少）」に含まれている「短期借入金による収入」は19,990,000千円、「短期借入金の返済による支出」は△19,080,000千円であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,296,395	4,240,177
受託現金	2,375,275	—
受取手形及び営業未収金	2,692,068	2,759,821
商品	3,757	23,542
貯蔵品	13,591	12,186
その他	344,692	269,367
貸倒引当金	△6,206	△5,987
流動資産合計	7,719,573	7,299,108
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,863,296	6,042,398
土地	12,671,243	11,925,276
その他(純額)	1,420,372	1,515,327
有形固定資産合計	19,954,912	19,483,002
無形固定資産	182,193	190,785
投資その他の資産	1,520,302	1,519,689
固定資産合計	21,657,408	21,193,477
資産合計	29,376,982	28,492,585
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,403,729	1,468,479
短期借入金	7,610,885	7,578,824
未払法人税等	318,654	176,905
預り金	2,419,648	2,371,823
賞与引当金	225,294	196,545
その他	936,540	994,620
流動負債合計	12,914,751	12,787,197
固定負債		
長期借入金	3,803,478	3,211,308
退職給付引当金	679,704	688,005
役員退職慰労引当金	356,720	453,042
その他	831,497	859,335
固定負債合計	5,671,400	5,211,692
負債合計	18,586,151	17,998,889

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,772,784	1,772,784
資本剰余金	1,628,008	1,628,029
利益剰余金	7,646,415	7,244,272
自己株式	△329,766	△208,232
株主資本合計	10,717,441	10,436,853
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,764	12,907
繰延ヘッジ損益	△12,894	△11,930
評価・換算差額等合計	12,869	977
少数株主持分	60,519	55,864
純資産合計	10,790,830	10,493,695
負債純資産合計	29,376,982	28,492,585

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業収益	12,353,232	12,660,036
営業原価	11,145,134	11,146,612
営業総利益	1,208,098	1,513,424
販売費及び一般管理費		
役員報酬	—	137,674
給料及び手当	169,689	190,564
賞与引当金繰入額	12,933	26,560
退職給付費用	5,431	5,198
役員退職慰労引当金繰入額	13,090	11,478
貸倒引当金繰入額	1,294	1,062
その他	477,729	315,631
販売費及び一般管理費合計	680,169	688,170
営業利益	527,929	825,254
営業外収益		
受取利息	3,751	3,029
受取配当金	19,979	12,739
負ののれん償却額	2,196	—
補助金収入	—	9,700
その他	20,338	22,153
営業外収益合計	46,266	47,622
営業外費用		
支払利息	86,756	76,114
その他	6,845	14,054
営業外費用合計	93,601	90,168
経常利益	480,594	782,707
特別利益		
固定資産売却益	8,247	2,319
その他	875	841
特別利益合計	9,123	3,161
特別損失		
固定資産除売却損	23,475	6,966
その他	544	—
特別損失合計	24,019	6,966
税金等調整前四半期純利益	465,697	778,902
法人税等	226,204	316,684
少数株主利益	2,711	4,654
四半期純利益	236,781	457,563



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	465,697	778,902
減価償却費	563,267	543,572
のれん償却額	26,468	—
負ののれん償却額	△2,196	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	940	220
受取利息及び受取配当金	△23,731	△15,768
支払利息	86,756	76,114
固定資産除売却損益 (△は益)	15,227	4,646
売上債権の増減額 (△は増加)	66,621	67,727
たな卸資産の増減額 (△は増加)	425	22,680
仕入債務の増減額 (△は減少)	47,165	△64,749
その他	31,801	△216,502
小計	1,278,443	1,196,842
利息及び配当金の受取額	23,912	15,943
利息の支払額	△87,039	△72,304
法人税等の支払額	△280,646	△170,649
営業活動によるキャッシュ・フロー	934,669	969,831
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△618	△200
定期預金の払戻による収入	1,200	7,841
有形固定資産の取得による支出	△385,487	△1,037,659
有形固定資産の売却による収入	12,179	16,049
無形固定資産の取得による支出	△57,799	△35,973
投資有価証券の取得による支出	△1,729	△1,431
投資有価証券の売却による収入	18,326	—
貸付けによる支出	△13,860	△6,800
貸付金の回収による収入	17,838	24,296
その他	△4,606	8,192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△414,557	△1,025,684

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	910,000
短期借入金による収入	16,401,000	—
短期借入金の返済による支出	△15,921,000	—
長期借入金による収入	—	1,245,000
長期借入金の返済による支出	△768,490	△1,530,769
リース債務の返済による支出	—	△2,654
自己株式の取得による支出	△38,806	△121,717
自己株式の売却による収入	—	161
配当金の支払額	△55,951	△55,415
財務活動によるキャッシュ・フロー	△383,248	444,605
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	136,863	388,751
現金及び現金同等物の期首残高	3,719,846	4,229,529
資金の範囲の変更による現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	△2,324,892
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,856,710	2,293,389

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

	貨物自動車 運送事業 (千円)	不動産賃貸 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
営業収益						
(1) 外部顧客に対する売上高	11,900,459	421,527	31,245	12,353,232	—	12,353,232
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,900,459	421,527	31,245	12,353,232	—	12,353,232
営業利益	693,560	244,905	7,175	945,641	△417,711	527,929

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	貨物自動車 運送事業 (千円)	不動産賃貸 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
営業収益						
(1) 外部顧客に対する売上高	12,099,794	420,967	139,274	12,660,036	—	12,660,036
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,099,794	420,967	139,274	12,660,036	—	12,660,036
営業利益	931,083	261,089	9,882	1,202,055	△376,801	825,254

(注) 1. 事業の区分は内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な業務

(1) 貨物自動車運送事業・・・貨物自動車運送業務、庫内作業業務

(2) 不動産賃貸事業・・・不動産賃貸事業

(3) その他事業・・・リース業務、コンピュータソフト開発業務、保険代理店業務、部品販売業務

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。